

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和2年4月1日

計画の名称	1 岸和田市丘陵地区における周辺環境を活かした新たな地域拠点の形成（2期）						重点計画の該当					
計画の期間	平成30年度～令和3年度（4年間）			交付対象	岸和田市							
計画の目標	岸和田市丘陵地区において土地区画整理事業を行うことで、地域資源を活かした産業の創出やゆとりある住宅地の形成など、周辺環境と連携した新たな地域拠点の整備を図る。											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業により整備した業務系用地を活用した新たな産業団地の形成を目指す。 良好な周辺環境と調和した住宅地整備による人口定着を図る。 市中央部の地域拠点として整備を図り、当該地区だけでなく周辺地域のアメニティ向上も図り、新しい都市生活を創造する。 地域住民が積極的に地域資源を活用し、自主的にまちを育てていけるまちづくりを目指す。 											
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値	備考				
							当初現況値 (H30末)	中間目標値 (R1末)	最終目標値 (R3末)			
①業務地整備に伴う進出企業数 新たに丘陵地区に進出してきた企業数							10社	12社	20社			
②居住人口 住宅地整備に伴う丘陵地区内の居住人口							200人	240人	300人			
③まちの過ごしやすさ 既存権利者及び進出企業、新たな住民へのアンケート調査による							50%	54%	65%			
④まち育て団体の活動回数 既存のまちづくり組織を発展させる予定の（仮称）まち育て協議会の年間活動回数							4回/年	8回/年	12回/年			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	311百万円	A	311百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0%

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
岸和田市まちづくり推進部丘陵地区整備課	令和元年度
	公表の方法
	岸和田市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況														
交付対象事業														
A 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考
									H30	R1	R2	R3		
A10-001	都市再生	一般	岸和田市	直接	岸和田市	岸和田丘陵地区(2期)都市再生整備計画事業	区域面積 A=46.8ha	岸和田市					311	
合計												311		
B 関連社会資本整備事業(該当なし)														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考
									H30	R1	R2	R3		
合計												0		
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名(港湾・地区名)	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考
									H30	R1	R2	R3		
合計												0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		
D 社会資本整備田圃化地帯整備事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考
									H30	R1	R2	R3		
合計												0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況												
<ul style="list-style-type: none"> 道路整備、上下水道整備、造成工事等の進捗により、一定の企業誘致に繋げることができた。 企業誘致や新規居住が進み、まち育て活動が活性化されたことから、自主的なまちづくりが進められている。 												
II 定量的指標の達成状況												
II 定量的指標の達成状況	指標① 業務地整備に伴う進出企業数(新たに丘陵地区に進出してきた企業数)		中間目標値	12社	目標値と実績値に差が出た要因	・インフラ整備について、業務地エリアを先行的に進めたことにより、早期に積極的な企業誘致に取り組めたことが、操業につながった。						
			中間実績値	18社								
	指標② 移住人口(住宅地整備に伴う丘陵地区内の居住人口)		中間目標値	240人	目標値と実績値に差が出た要因	・定住人口の確保に向けた住宅開発事業者は確保できたものの、住宅用地の整備が事業の工程上、後年度にならざるを得なかったことが目標未達成の要因となった。						
			中間実績値	11人								
	指標③ まちの過ごしやすさ(既存権利者及び進出企業、新たな住民へのアンケート調査による)		中間目標値	54%	目標値と実績値に差が出た要因	・長年のまちづくりが実を結び、まちの骨格が形成されたこと、住環境と操業環境に配慮したまちづくりが進んだことが評価された期待値も含まれた評価となっている。						
			中間実績値	55~71%								
	指標④ まち育て団体の活動回数(既存のまちづくり組織を発展させる予定の(仮称)まち育て協議会の年間活動回数)		中間目標値	8回/年	目標値と実績値に差が出た要因	・平成23年に設立した岸和田丘陵まちづくり協議会が、「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」に発展し、協議会の下、部会が設立され、まち育て支援事業を通じて活発な活動が展開された。						
			中間実績値	13回/年								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)												
3. 特記事項												
<ul style="list-style-type: none"> 早期の住宅地整備の実現により人口定着を図り、自主的なまち育て環境を創生することを目指す。 												

(参考図面) 市街地整備

計画の名称 岸和田市丘陵地区における周辺環境を活かした新たな地域拠点の形成(2期)
 計画の期間 平成30年度～令和3年度(4年間)

交付対象

岸和田市

